

V シティプロモートの展開

1. 事業展開の視点

この事業をやることで笑顔になれますか？

その事業で
誰かの笑顔が
浮かんで
きますか？

その事業を続けて
笑顔が広がって
いきますか？

ロゴイメージ

SAPP_{RO}

その制度で困った顔が
笑顔に変わりますか？

なによりも、
事業を進める
あなたが
笑顔ですか？

シティプロモート事業を展開していく第一の視点は、「明確な対象設定」です。対象設定は、年齢層であったり、住んでいるエリアだったり、職業だったりの属性の場合もあれば、趣味や好み、行動様式などの場合もあります。いずれにせよ、その事業は「誰の笑顔」のために展開されるのかという問いかけが必要です。

第二の視点は「時間軸による検証」です。長い間続いているからという理由だけでは、人々のニーズから離れて成果があげられないばかりか、かえって無駄遣いや逆効果になってしまいます。このやり方でいいのか？もっと新しい見せ方がないのか？継続されている事業こそ、新たな視点による検証が不可欠です。

第三の視点は「変化するニーズへの対応」です。時代の変化にあわせて、人々の思考やニーズは変化しつづけていきます。その事業を展開することが、現在及び将来にわたって本当に求められているのか？市民ひとりひとりの気持ちや意識に基づいていたり、札幌の課題や強みにかなっているか？常に将来を見据えた社会的視点とともに、現場フィールドやマーケティングニーズから発想していく姿勢が求められています。

第四の視点は、事業を推進している人たちの「モチベーションの継続」です。自分や仲間たちが「笑顔」で推進できない事業やプロジェクトに新たな人材は加わってきませんし、新たな事業の可能性や継続性は望めないはずで、なによりも中心になる人たちが推進力を持ち続けられる事業こそが将来にわたって効果を発揮します。

なお、第3次札幌新まちづくり計画においては、より親しみやすい成果指標となることを目指した「さっぽろえがお指標」を設定しました。これは、この指標の達成が市民の幸福度を上げて、みんなの笑顔を広げていくことをイメージしたものです。

2. 個別戦略事業

このシティプロモート戦略をすすめるにあたっては第3次札幌新まちづくり計画と連動し、そこに掲載されているシティプロモート関連事業再編成しています。これらの事業実施期間は平成23年度から平成26年度を予定しています。※金額については計画期間（平成23年度～26年度）において見込まれる個別の計画事業費を示しています。なお、金額が[-]となっている事業は、事業内容の詳細が未確定なため事業費の見積が困難なものや、経常的な業務として既に一定の事業費が確保されているもの、事業実施に特段の事業費を必要としないものです。

1. 魅力の再発見

「行きたいまち」から「住みたいまち」へ

市長政策室

| | | |
|--------------------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| シティプロモート推進 | 68百万円 | 札幌のブランドイメージを構築するシティプロモートの総合戦略を策定するとともに、二地域居住の促進や札幌のライフスタイルの発信など新たな都市イメージを発信する事業を庁内連携のもとで実施します。 |
| 大学と地域の連携による都市再生の推進 | 20百万円 | 大学をまちづくりの重要なパートナーと位置づけ、地域のシンクタンクとなるよう、大学の存在価値を地域のまちづくりに積極的に活かしていく仕組みづくりを行います。 |

市民まちづくり局

| | | |
|------------------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 都心まちづくり戦略事業化推進 | 25百万円 | 平成22年度に策定した「さっぽろ都心まちづくり戦略」で、重点地区として位置づけた創成川以東地区のまちづくりを促進するため、まちづくり計画を策定します。 |
| アイヌアートモニュメント設置事業 | 16百万円 | 先住民族であるアイヌ民族に対する市民の理解を促進し、アイヌ民族の誇りが尊重されるまちを実現するため、アイヌ民族を象徴するモニュメントを、市街地の適切な場所に設置します。 |
| アイヌ伝統文化振興事業 | 44百万円 | 「札幌市アイヌ施策推進計画」に基づき、公共空間でアイヌ文化の情報を発信するとともに、伝統工芸品展示販売スペースを設置します。また、アイヌ民族の伝統文化に関わる行事、講座等の実施の拡充を図ります。 |
| 路面電車延伸推進事業 | 2,014百万円 | 「札幌市路面電車活用方針」で示された3地域（都心・桑園・創成川以東）への路面電車の延伸に向けた調査・設計および新型低床車両の仕様検討を行い、路面電車活用計画を策定します。また、平成26年度までに既設線のループ化を実施します。 |

環境局

| | | |
|---------------------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生物多様性推進事業 | 61 百万円 | 生物多様性保全を推進するため、生物多様性さっぽろ戦略を策定するとともに、希少種配慮ガイドラインや市民実践ハンドブックの作成、大学との協働による市民活動プログラムの開発・運営などを行います。 |
| 札幌省エネアクションプログラム | 36 百万円 | 市有施設の省エネを推進するため、設備機器の運転方法改善などの技術支援によりモデル施設のエネルギー削減を進め、市役所全体及び民間事業者の省エネに発展させます。 |
| 次世代エネルギーパーク推進事業 | 10 百万円 | 市民がさまざまな新エネルギー設備を実際に見ることのできる体験型普及啓発施設として、円山動物園に「札幌市次世代エネルギーパーク」を整備し、新エネルギーの普及を推進します。 |
| エネルギーに関する環境教育の推進 | 23 百万円 | 学校において、生活に必要なエネルギーについて学び考え体感する設備整備を行い、体感から実践へと自発的に行動できる人材を育成する環境教育を推進します。 |
| さっぽろエコライフ推進事業 | 31 百万円 | 民生家庭部門のエネルギー消費削減に向け、「節電促進キャンペーン」や、エコ診断ソフトを活用し CO 2 の見える化を図りながら「省エネ診断」を実施するとともに、それらの実践事例などを広く情報発信して、市民の節電や省エネの取組を広げていきます。 |
| 札幌・エネルギー eco プロジェクト | 187 百万円 | 地球温暖化対策推進を目的に、既存エネルギーから新エネルギーの転換、省エネルギー機器の導入促進を図るため、導入コストの高い新エネ・省エネ機器に対する市民への補助を拡充するとともに、新たに町内会や N P O に対する補助を行います。 |
| 札幌・サンサンプロジェクト事業 | 708 百万円 | 地球温暖化対策推進のため、普及啓発効果の高い市有施設に太陽光パネルを設置することにより、市民・事業者への普及促進を図ります。 |
| 都心部みどりの空間づくり事業 | 58 百万円 | 都心部において、街路樹をみどり豊かな姿に育て保つとともに、北国の花で彩ったコンテナガーデンの拡大を行い、市民や観光客が安らげる癒やしの空間づくりを進めます。 |
| 主要幹線みどりのボリュームアップ事業 | 140 百万円 | 地域と地域をつなぐ主要幹線において、重要な構成要素である街路樹を、その特性にあわせた姿に育てることにより、みどり豊かな美しい道路景観づくりを進めます。 |

観光文化局

| | | |
|-----------------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------|
| ICTを活用した札幌ま ちめぐり事業 | 31 百万円 | 携帯端末などで動画視聴、観光情報の入手が可能なシステムを構築し、既存のパンフレットの電子化などにより、コンテンツの充実化を進め、札幌のまちめぐりを促進します。 |
| 定山溪地区整備促進事業 | 23 百万円 | 定山溪地区の観光資源としての魅力向上を目指し、エリア全体としての総合的な再整備に向けた構想策定を行います。 |

教育委員会

| | | |
|--------------------|-----------|-----------------------------------------------------|
| 学校施設太陽光パネル設 置事業 | 3,259 百万円 | 児童生徒や地域住民への環境意識の向上および環境教育を推進するため、小中学校に太陽光パネルを設置します。 |
|--------------------|-----------|-----------------------------------------------------|

計 18 事業、6,754 百万円

2. 魅力を味わい発信する

「札幌・北海道の魅力を支え、発信するまち」へ

総務局

| | | |
|----------------------------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 姉妹・友好都市青少年未来プロジェクト事業 | 18 百万円 | 姉妹・友好都市の大学生が札幌に集い、札幌の学生とともに国際理解セミナーを受講し、相互理解を深めるとともに、議論を行うことを通じて、札幌の将来を担う国際的な人材を育成します。 |
| 多文化共生推進事業 | 12 百万円 | 多言語での情報提供や地域での交流事業を実施し、外国籍市民が日本人市民と同様にまちづくりに参加し、地域社会の構成員として共に生きていく多文化共生のまちづくりを推進します。また、東日本大震災の教訓を踏まえ外国籍市民の避難への備えを行います。 |
| 世界冬の都市市長会関連事業 | 34 百万円 | 「冬は資源であり、財産である」というスローガンのもと、世界の冬の都市が集まる「世界冬の都市市長会」を会長市として開催するとともに、これらの活動を国内外に発信します。 |
| ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo 開催 | 34 百万円 | 姉妹都市ミュンヘン市の伝統行事であるクリスマス市を大通公園で開催し、異文化理解の促進、市民の姉妹都市意識の醸成を図るとともに、初冬季の観光集客、都心空間のにぎわいや魅力の創出につなげていきます。 |
| 首都圏における札幌のシティPR事業 | 58 百万円 | 観光客等を札幌に誘致するため、首都圏の旅行会社や出版会社等とのネットワークを活用するとともに、メディアやイベントを通じて、文化や芸術、食、イベント、都市環境などの札幌の魅力を首都圏に広くPRします。 |
| 首都圏ビジネス・マッチング支援事業 | 18 百万円 | 「札幌市産業振興ビジョン」の4つの重点分野である「食」「観光」「環境」「健康・福祉」を中心に、高い技術や優れた商品を持つ札幌企業に対して、首都圏での販路拡大を支援するため、コンサルティングおよびビジネスマッチングを行います。 |

市民まちづくり局

| | | |
|-----------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 都心エリアマネジメント推進事業 | 28 百万円 | 都心各地区の特性に合わせたエリアマネジメントを推進するとともに、地区間の連携支援を実施します。あわせて、都心の一体的な魅力向上に取り組む「都心まちづくり推進会議」を設立し、重層的なエリアマネジメント体制の確立を図ります。 |
|-----------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

経済局

| | | |
|----------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 6次産業活性化推進補助 | 104 百万円 | 道内の1次産業者と市内の2次・3次産業者が連携し、道内の農水畜産資源を活用して行う新商品開発の取り組みに対する支援を行います。 |
| 北海道フードコンプレックス国際戦略総合特区構想の推進 | - | 道内食産業の高付加価値化と海外販路拡大を図るため、道内自治体や経済団体と連携し、「北海道フードコンプレックス国際戦略総合特区構想」の取り組みを推進します。 |

観光文化局

| | | |
|----------------------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国内観光振興事業 | 53 百万円 | 地域別、対象別に、直接または各メディアや旅行会社などとの連携により、国内の一般消費者に対する観光情報の発信を行い、また、観光客の札幌滞在をより充実させるための魅力づくりにも取り組みます。 |
| 広域連携による観光振興 | 13 百万円 | さっぽろ広域観光圏を中心とする近隣市町村や北海道内の中核都市などの地域間連携により、札幌市内の滞在促進や観光客の増加を図るためのさまざまな事業を実施します。 |
| さっぽろオータムフェスト市内周遊促進事業 | 15 百万円 | 秋の集客増を図るため、北海道・札幌の食をテーマに大通公園で「さっぽろオータムフェスト」を実施し、創成川東地区など市内各地域で行われている既存イベントとの連携を図り、市内全体に賑わいを創出し、市民および観光客の市内周遊を促進します。 |
| おもてなし推進・レベルアップ事業 | 13 百万円 | おもてなしの推進と受入体制の強化により、来札者の満足度を向上させ、再訪者の増を図ります。 |
| カーリング場建設事業 | 1,770 百万円 | 市民に新たなウィンタースポーツを楽しむ機会を提供するとともに、国際大会をはじめとした各種大会の開催や合宿の誘致、さらには体験型の観光など集客交流にも活用することを目的として通年型カーリング専用施設を建設します。 |
| カーリング普及事業 | 46 百万円 | 通年型カーリング場がオープンすることを機に、カーリング人口の拡大、競技力の向上を図るため、体験会や教室などを通じて誰もが気軽にカーリングを体験できる環境を整えます。 |
| ウィンタースポーツ活性化事業 | 58 百万円 | 低迷傾向が見られるウィンタースポーツの活性化を図るため、ウィンタースポーツ体験キャンペーンを展開するほか、学校教育と連携した小中学校でのウィンタースポーツ体験事業などの普及啓発を行います。 |

計 16 事業、2,274 百万円

3. 魅力の創造

「新たな挑戦を支援するまち」へ

市長政策室

| | | |
|-------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 創造都市さっぽろの推進 | 79 百万円 | 創造性を活かした産業振興や地域活性化により、都市課題の解決を図る「創造都市さっぽろ」の取り組みとして、ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟を目指すとともに、札幌駅前通地下歩行空間を活用し、市民やクリエイターの創造的活動を支援します。 |
|-------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

市民まちづくり局

| | | |
|----------------------------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 創世交流拠点まちづくり推進事業 | 23 百万円 | 創世交流拠点において、地区全体の将来のまちづくりの方向性を示す「まちづくりガイドライン」の検討や、先行街区である北Ⅰ西Ⅰ地区に続く各街区の事業化検討に官民協働で取り組みます。 |
| 創世 1.1.1 区北Ⅰ西Ⅰ地区市街地再開発推進事業 | 4,429 百万円 | 創世交流拠点のまちづくりを先導する事業であり、今後の札幌の文化芸術・創造的な市民活動の拠点となる「(仮称)市民交流複合施設」を実現する北Ⅰ西Ⅰ地区再開発事業を推進します。 |
| 大通交流拠点まちづくり推進事業 | 2,158 百万円 | 大通交流拠点整備事業として、札幌駅前通と大通との交差点地下（地下鉄南北線大通駅コンコース）について、札幌駅前通地下歩行空間や民間ビル等と連携した整備を行います。 |
| 南一条まちづくりの事業化検討 | - | 札幌の中心商業地である南一条地区について、地上・地下整備の事業化検討や、回遊性・利便性の向上に資する交通機能の導入、官民協働による地域価値向上など地区再生の具体策について検討を行います。 |
| 札幌駅交流拠点まちづくり推進事業 | 28 百万円 | 将来の北海道新幹線の札幌駅延伸を見据え、道都の玄関口としての拠点性を高めることを目的に、札幌駅交流拠点再整備構想を策定します。また、策定した構想を踏まえ北5西Ⅰ街区等の周辺街区を含む土地利用について整備基本計画を策定します。 |

経済局

| | | |
|--------------------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| スポーツを活用した札幌産業活性化事業 | 25 百万円 | プロスポーツやウィンタースポーツなど札幌の魅力あふれるスポーツ分野において、創造性あるビジネスモデルをコンテスト形式により公募し、事業の実施を行うことで、スポーツを活用した新たな産業を確立します。 |
| 札幌圏みらいづくり産業立地促進事業 | 216 百万円 | 札幌市の産業基盤の強化等を図るため、国内において成長発展が見込まれる技術革新分野の産業集積に取り組みます。このため、新たな立地支援制度を創設し、近隣自治体と連携して、研究開発施設や製造施設等の立地を促進します。 |
| アジア圏等経済交流促進事業 | 141 百万円 | 中国をはじめとしたアジア圏における現地情報や市場動向を把握し、各支援機関との連携のもと、商談会等を通じて販売先や調達先を確保するための支援を行い、札幌市内企業のグローバル化への対応と海外展開を促進します。 |

| | | |
|----------------------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 雇用創出型ニュービジネス立地促進事業 | 558 百万円 | 多くの雇用創出が期待できるコールセンターやニュービジネスについて、引き続き積極的な誘致活動を行い、企業の立地を促進します。 |
| 札幌テクノパーク・リノベーション推進事業 | 200 百万円 | 札幌テクノパークを従来のIT産業に加えてバイオや食関連の研究開発拠点として再構築します。食品評価手法等の研究開発の場を提供し、国内外の食・バイオ関連企業の受け皿とするため、札幌市エレクトロニクスセンターの技術開発室の一部をウェットラボ仕様の居室へ改修します。 |
| 札幌コンテンツ特区構想の推進 | - | 札幌や北海道における映像制作や販売数の増加、観光や食など他産業への波及を図るため、映像関連団体と連携し、「札幌コンテンツ特区構想」の取り組みを推進します。 |

観光文化局

| | | |
|----------------------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| さっぽろ雪まつり魅力アップ事業 | 424 百万円 | さっぽろ雪まつりの集客力や経済効果の向上のため、雪遊びや雪体験の魅力の提供を続けるほか、「創造都市さっぽろ」の取り組みと連携して札幌駅前通地下歩行空間での雪まつりPR活動を行います。 |
| シティ・リゾートウェディング推進事業 | 35 百万円 | 挙式を兼ねた旅行の誘致も視野に入れながら、香港等からのフォトウェディング（結婚記念写真旅行）の誘致のためのPRやモデルツアーを実施します。また、これに併せ、受入環境の充実や新たな魅力づくりを進めます。 |
| 国際観光誘致事業 | 16 百万円 | 市場の拡大が著しい中国において、観光客の誘致を図るため現地採用職員を配置するなどし、より重点的な誘致活動を行います。 |
| MICE推進事業 | 92 百万円 | 札幌をMICEの開催適地として国内外にPRし、開催支援・受入基盤の整備等を行い、戦略的にMICE誘致に取り組みます。 |
| Kitara ファーストコンサートの実施 | 92 百万円 | 市内の全小学6年生を対象として、札幌コンサートホールKitaraで、オーケストラ演奏を鑑賞・体験する機会を提供します。 |
| 子どものミュージカル鑑賞事業の拡充 | 2 百万円 | 本格的なミュージカルの素晴らしさを感性豊かな子どもたちに体験してもらうため、市内の全小学6年生を対象に鑑賞する機会を拡充します。 |
| 子どもの美術体験事業の拡充 | 10 百万円 | 次代を担う子どもたちに美術体験を提供するため、小学校にアーティストを派遣し子どもたちと一緒に美術体験を行う「おとどけアート事業」や市内の全小学5年生を美術館に招待する「ハロー！ミュージアム事業」を実施します。 |
| 国際芸術展の開催 | 298 百万円 | 「創造都市さっぽろ」のシンボリックなイベントとして、都市と自然環境が調和した札幌特有の都市環境を活かした定期的な国際芸術展を開催します。 |
| サッポロ・シティ・ジャズの拡充 | 9 百万円 | プロのジャズライブや公募バンドによる無料ライブ、ワークショップなどを行うサッポロ・シティ・ジャズを開催します。今後は、特にアジア・オセアニア圏への広報活動を強め、国外へサッポロ・シティ・ジャズの周知を図ります。 |

| | | |
|---------------------------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| さっぽろアートステージの開催 | 114 百万円 | 市内各所で舞台芸術・音楽・美術などの文化芸術イベントを、毎年11月に集中的に開催する「さっぽろアートステージ」を引き続き実施して、街中に文化芸術による賑わいを創出するとともに、国際芸術展の市民プログラム事業としての位置付けについて検討します。 |
| 500m 美術館の整備 | 113 百万円 | 地下鉄大通駅からバスセンター前駅間の地下歩行空間にアート作品を展示する環境を整備し、さまざまなアート作品を年間を通じて展示することで、札幌で活躍するアーティストを内外に発信し、市民が多彩な芸術文化に触れる機会を提供します。 |
| 優れた演劇公演の実施 | 42 百万円 | 札幌の演劇関係者の舞台芸術創作活動の活性化や市民に優れた演劇の鑑賞機会を提供するため、優れた作品を創造する劇団に支援を行います。 |
| 札幌交響楽団への補助 | - | 札幌コンサートホール Kitara を中心に、広く市民に優れた音楽鑑賞機会を提供するなど、本市音楽界発展の原動力として文化芸術の振興に大きく寄与している札幌交響楽団の運営費の補助を行います。 |
| パシフィック・ミュージック・フェスティバルへの補助 | 739 百万円 | 世界三大教育音楽祭として成長を続けているパシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）に対して、事業費の補助による支援を行います。 |
| スポーツツーリズム推進事業 | 15 百万円 | ウインタースポーツをはじめとする札幌の豊富なスポーツを資源としたスポーツツーリズムの推進を図り、観光客の集客につなげます。 |

市民まちづくり局・観光文化局

| | | |
|------------------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------|
| (仮称) 市民交流複合施設の整備 | 7,793 百万円 | 2,300 席規模のホール等を備え、将来の市民の文化芸術・創造活動の拠点となる「(仮称) 市民交流複合施設」について、北1西1地区再開発事業により整備します。 |
|------------------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------|

計 28 事業、26,679 百万円

3. 重点取組分野

魅力の掛け算で“笑顔”の増幅、拡大

シティプロモートの重点取組分野とは、前述の個別戦略事業のなかから、とりわけ波及効果の大きいと思われる分野をとりあげ、シティプロモート戦略の道案内の星として重点的に取り組むものです。シティプロモート戦略が今後とも永続的に継続するドミノだとすると、重点取組分野は、その最初のきっかけとなる一枚。その最初のドミノが動き出すことによって、新たな人材や資源が加わり、次々と連鎖反応がおきてきます。その結果、札幌の魅力をより増幅・拡大することに繋がっていくはずです。

5つのトンガリ



① MICEによるプロモート

「MICE」とは、企業等の大規模ミーティング(Meeting)、報奨・研修旅行(Incentive travel)、国際会議や全国規模の大会や学会(Convention)、国際的な文化・スポーツイベント、展示会・見本市(Event/Exhibition)の頭文字を合わせた名称で、観光とともに都市への実効性のある集客装置として注目されています。最近では、その効果から、各国・都市においても総合戦略を構築、MICE誘致開催に関する体系的な取り組みを始めています。

ひとたび国際的なMICEを開催すると、都市名や都市力は世界に発信されるとともに、市民レベルにおいても国際交流や受け入れボランティアの活性化など、経済にとどまらない波及効果を及ぼします。

札幌においては、シティプロモート重点取組分野の一環としてMICE戦略にもとづき推進し、世界にアピールしていきます。

展開例

- ・ 札幌のMICE力を高めていくための、MICEサミット・コンテンツトレードショー、札幌Greener Weekなどの開催。
 - ・ 国際的スポーツイベントの誘致
- など

② 映画・コンテンツによるプロモート

札幌の最大の魅力は、至近距離に展開する大自然から受け取る楽しさと190万都市の都市装置が提供する刺激がもたらす「札幌らしいライフスタイル」です。

そうした暮らし方の魅力を解りやすく伝えていく効果的なツールは映画に代表される映像であり、刺激を伝えていくのは、多様な創造的コンテンツ(音楽、映像、インタラクティブグッズ、ショップ等)です。幸い札幌には、キャラクターや地元タレントなどに代表されるコンテンツが世界的、全国的な注目を集めていますし、札幌国際短編映画祭の継続やマーケットプレイス化に加えて、人材育成を担う札幌市立大学や札幌デジタル創造プラザ(インタークロス・クリエイティブ・センター)の活動も定着しています。

札幌を舞台にした映画やコンテンツの発信などにより、魅力を伝え、加えて優秀な人材を誘致することにより、札幌の魅力がさらに増大・拡大していくことにつながります。

展開例

- ・ 映画製作誘致(フィルムコミッション活動)等による映画を通じたプロモート
- ・ 多様なコンテンツ、タレントによる発信や市場・催事等の形成
- ・ 多様なコンテンツ・人材の受け入れや育成

など

③ 食によるプロモート

新鮮多彩で安心な食材の供給基地として定評ある北海道にあって、札幌はその一大集積地であるとともに、コストパフォーマンスの高い料理提供地として絶大な人気を有しています。最近では、従来からの札幌発信の食文化であるラーメン、ジンギスカン、ビール、アイスクリーム、海産物、野菜などに加え、スープカレーや米、フレンチやイタリアンのさっぽろキュージーヌ、蝦夷前寿司、北海道の乳製品を活用した札幌スイーツやチーズ、道産ワイン等、食通の間でも評価が高まっています。

さらに、北海道フードコンプレックス国際戦略総合特区のなかで札幌は「フードイノベーションエリア」と位置付けられ、新たな食材・加工品の開発や技術の向上するなどの役割を担っています。また、世界では、ここ10年調理科学の支えによる調理器具の開発によって調理技術や流通技術等も飛躍的な進歩を遂げています。

「食材」、「調理」、「加工」そして「流通」、「デザイン」と一環した取り組みによる実際的な研究体制の構築が「北海道の食材」を支えることにつながっています。

展開例

- ・ 食産業や観光の進行も視野に入れた総合的な食の安全、安心の施策の推進
- ・ 既存の食イベント(オータムフェスト、サッポロタバス等)などと連動したプロモート催事の展開
- ・ 地域商社の創設の検討
- ・ 札幌発「蝦夷前寿司」のプロモート

など

④ 滞在期間の拡大によるプロモート

都市の本当の魅力を発信できるのは、その都市の住民に加えて、その街で長期滞在し、自分の仕事や研究をする人たちです。札幌においても、ここ数年、クリエイティブクラス※ 20の方々を中心に長期滞在やブランチを設け、様々な活動を行っています。

札幌における二地域居住とは、期間や季節を限定し、ある程度の長い期間(1か月から数か月程度)札幌に滞在し、新しいビジネススタイルや創作活動・発表活動の体験を行ってもらう事業です。

こうした方々の滞在は、札幌の魅力を創造物や仕事で発信されるほか、都市ブランディング効果が期待でき、また滞在による活動は、新たな刺激や交流にもつながり、有用な人材の育成や誘致にも発展していきます。

展開例

- ・ 著名アーティスト等への滞在誘致や創作活動の場のコーディネート
- ・ 二地域居住者による札幌のライフスタイルの発信(ツイッター等のCGM、雑誌インタビューなど)
- ・ 道内他市町村との連携によるプロモーションの実施 など

⑤ 創造的な活動による都心活性化

都心の魅力は、単に商業やサービス業の集積だけではなく、都市の刺激的な楽しさやアクティビティの提供にもあると考えられます。絶え間ない新陳代謝が、都心の魅力を増幅させ、活性化につながります。

札幌の都心においては、都市軸である駅前通や大通の存在、各商店街の集積などに加えて、駅前通地下歩行空間、創成川公園、500m美術館のオープンやオペラ上演可能なステージを有する交流複合施設※ 21の整備、北三条広場の整備、狸小路の再生など、様々なステージが用意されつつあります。

こうした新旧のプレイヤーによる創造的な活動は、都心の楽しさやにぎわいを創出し、都市の魅力を高めるとともに、継続的なシティプロモートにつながります。

展開例

- ・ 創造的活動の場確保の支援、コーディネート
- ・ 都心における創造的活動への規制緩和・PR支援
- ・ 空ビル・空スペースの創造的活用による都心再生 など

4. 東日本大震災に向けた取組

被災地の笑顔のために

① 被災地への人員派遣・物資提供、避難者の受入

2011年3月11日に発生した東日本大震災は被災地に甚大な被害をもたらしました。札幌市は被災地の笑顔をいち早く取り戻すために救援物資の提供や職員の派遣などの支援をしてきました。

また、震災や震災に伴い福島県で発生した原発事故の影響によって避難を余儀なくされ、札幌へ避難してきた方の受入は400世帯、1,000人を超えています。

(1) 被災地への人員等派遣 (10/31 現在)

| 項目 | 活動中の人数 | 延べ人員 |
|-----------------|--------|--------|
| 消防関係 | 0人 | 503人 |
| 上・下水道関係 | 1人 | 220人 |
| 医療・福祉関係 | 0人 | 145人 |
| 避難所支援関係 | 0人 | 75人 |
| 廃棄物収集運搬関係 | 2人 | 24人 |
| 税務関係 | 2人 | 46人 |
| 危険度判定・仮設住宅等建設関係 | 1人 | 20人 |
| 情報収集・連絡調整関係 | 0人 | 12人 |
| 復旧・復興関係 | 4人 | 12人 |
| 計 | 10人 | 1,057人 |

(2) 救援物資の提供

1. 札幌市支援物資 (3/13～3/19、仙台市ほか) 毛布・缶入りパン・ペットボトル・給水袋等
2. 市民・企業提供物資 (3/24～3/27受付、仙台市ほか) 食料品・生活用品・水等
3. 自転車の提供 (5/30) 全国自転車問題自治体連絡協議会の要請に基づき、石巻市に自転車を100台提供
4. その他被災地の要望に基づき、食料品・生活用品等を随時提供

(3) 避難者の受入状況

・ 市営住宅等の公的住宅入居者数 (10/31 現在)

| 項目 | 活動中の人数 | 延べ人員 | 提供可能数 |
|---------|--------|--------|---------|
| 市営住宅 | 97世帯 | 248人 | 250戸 |
| その他公的住宅 | 287世帯 | 796人 | 約1,100戸 |
| 計 | 384世帯 | 1,044人 | 約1,350戸 |

・ 民間住宅入居者数 (10/31現在) 140世帯326人 (※札幌市が把握しているものに限る)

② 被災者を支援する活動

被災地の支援とともに震災等の影響によって札幌などへ避難されている方が笑顔を取り戻すための取組をしてきました。

(1) 北海道NPO被災者支援ネットを通じた支援

札幌市をはじめ、公的機関や市民団体、NPO、企業などがさまざまな支援を行うにあたり、被災者支援の窓口として、避難者とサービス提供者とのスムーズな情報交換することを目的に、官民協働で避難者の生活支援を行うネットワークを構築しました。その中心的な役割を果たすのが「北海道NPO被災者支援ネット」です。(札幌市委託)

【支援メニュー (例)】

- | | | | |
|--------------------|----------------|----------|-----------|
| ・生活用品提供(家具・家電製品など) | ・就職斡旋 | ・子育て支援 | ・お年寄りの見守り |
| ・食事提供 | ・理髪、入浴サービス | ・カウンセリング | ・法律相談 |
| ・地域コミュニティー活動 | ・文化・スポーツイベント招待 | ・移動支援 | ホームステイ |

(2) 「さぼーとほっと基金」を通じた支援

そのほか、被災者を支援する市民まちづくり活動に取り組むNPOなどへ「さぼーとほっと基金」からの助成を行っています。この「さぼーとほっと基金」とは市民や事業者から札幌市が寄付を募り、町内会、ボランティア団体、NPOが行うまちづくり活動に助成する仕組みです。これまでに被災地を支援する活動へ11件8,465千円の助成が決定しています。

(3) 避難者が笑顔になる取組への支援

これらのほか、NPO、企業、学生などによる様々な支援への取組が市内各所で積極的に行われました。

・癒しと元気のGW(5/3、5/4)

札幌市は東日本大震災の被災者を、大型連休期間中に開かれた札幌交響楽団のコンサートとサッカー J2「コンサドーレ札幌」の試合に招待しました。札幌の元気の発信基地でもある Kitara や札幌ドームが元気な笑顔でいっぱいになりました。

・ようこそあったかい道

避難された方へ家財道具や生活必需品の提供や食事の提供、コミュニティづくりの支援や、法律相談などを行う被災者支援イベントを開催しました。これはNPOなどの民間団体と札幌市が中心となり、北海道、福島県北海道事務所や民間団体・企業の協力により開催してきました。

2011年4月には約100人、同年10月には約300人の参加者でにぎわい、笑顔であふれるイベントとなりました。

